

地球惑星科学委員会 SCOR 分科会 GEOTRACES 小委員会
(第 26 期・第 2 回) 議事要旨

1. 日 時：令和 6 年 12 月 10 日（火）11：50～13：10

2. 会 場：ハイブリッド会議

現地会場：東京大学大気海洋研究所 2 階会議室（千葉県柏市柏の葉 5－1－5）

オンライン接続先（ZOOM）

3. 出席者：

張 勁（現地）、小川 浩史（現地）、乙坂 重嘉（現地）、小畑 元（現地）、熊本 雄一郎（現地）、
黒川 隆司（オンライン）、小松 大祐（オンライン）、近藤 能子（現地）、佐野 有司（現地）、
鈴木 光次（現地）、宗林 由樹（オンライン）、高野 祥太郎（オンライン）、
田副 博文（オンライン）、谷保 佐知（オンライン）、八田 真理子（オンライン）、
眞塩 麻彩実（オンライン）、西岡 純（現地）、則末 和宏（オンライン）、堀川 恵司（現地）、
山田 正俊（現地）

欠席者：蒲生 俊敬、坂口 綾、羽角 博康

4. 議題等

（1）地球惑星科学委員会 SCOR 分科会 GEOTRACES 小委員会（第 26 期・第 1 回）

議事要旨の確認

（2）GEOTRACES 国内外の動向について

1. SSC 及び関連事項について

2. DMC 及び関連事項について

3. SI 及び関連事項について

4. GEOTRACES Early Career Scientist (ECS) 関連事項について

5. BioGeoSCAPES 関連事項について

6. その他

（3）最近の GEOTRACES 関連航海の実施状況及び今後の実施予定について

（4）国内 Website、メーリングリストなどについて

（5）その他

5. 配布資料

資料 0：議事次第

資料 1：地球惑星科学委員会 SCOR 分科会 GEOTRACES 小委員会（第 26 期・第 1 回）議事要旨

資料 2－1：GEOTRACES－SSC 会議および関連事項の報告

資料 2－2：GEOTRACES－DMC 会議および関連事項の報告

資料3：最近の GEOTRACES 関連航海の実施状況および今後の実施予定

6. 議事要旨：

(1) 地球惑星科学委員会 SCOR 分科会 GEOTRACES 小委員会（第26期・第1回）

議事要旨の確認

張委員長より第26期・第1回の議事要旨の確認があり、承認された。

(2) GEOTRACES 国内外の動向について

1. GEOTRACES-SSC 及び関連事項について（資料2-1）

SSC(Scientific Steering Committee)メンバーである近藤委員より SSC Meeting 2024(2024/9/18-20、オランダ NIOZ)において、日本の研究業績を報告したことが共有された(詳細なレポートは <https://www.geotraces.org> で閲覧可能)。また、以下の情報が合わせて報告された。

- ・“Sampling and Sample-handling Protocols for GEOTRACES Cruise (ver 4, 2024)”が GEOTRACES website で公開されていること。
- ・東大・大気海洋研の乙坂准教授が申請していた日本海を中心とした研究航海が GPpr18 として承認されたこと。
- ・GEOTRACES 研究で使用する標準海水の不足に対応するため、新たな標準試料用海水を採取する航海が採択されたこと。この航海で得られるサンプルの配布を希望する研究者は(IDP にデータを提出していない研究者)、航海の主席研究者に直接連絡を取るよう報告があった。

2. GEOTRACES-DMC 及び関連事項について（資料2-2）

DMC(Data Management Committee)Meeting(2024/9/16-17, オランダ NIOZ)にオブザーバーとして参加した西岡委員より、以下の内容が報告された。

- ・SCOR からの資金提供が終了した後の GEOTRACES データの維持管理について議論が行われていること。
- ・2033 年に“GEOTRACES State Estimates”という微量元素の全球グリッドモデルを構築することを目的としたワークショップの実施が決定したこと。

また、小畑委員より、GEOTRACES State Estimates で作成される全球グリッドデータの検証方法について質問があり、これに対して、西岡委員から、データ空白域にデータを補完することが当初のアイデアで、検証についてはまだ十分に議論が進んでいないと、回答があった。

3. SI 及び関連事項について

西岡委員より Intermediate Data Product (IDP) 2025（最終締切：2024年12月15日）に提出されたデータの中に標準偏差(Standard Deviation)が記載されていないものが散

見られるため、全てのデータに標準偏差を必ず付記するよう注意喚起があった。

4. GEOTRACES Early Career Scientist (ECS)関連事項について

ECS メンバーの高野委員より、以下の内容が報告された。

- ・2025 年 11 月に南アフリカで実施予定の GEOTRACES Summer School について、ECS メンバーから 4 -5 人ほど講師として参加することを検討中であること。
- ・GEOTRACES の動向をより効果的に把握できるようにするため、オンラインレクチャーやオンサイトでのワークショップなどの企画が議論されていること。

5. BioGeoSCAPES 関連事項について

鈴木委員より、BioGeoSCAPES プログラム(<https://biogeosciences.org>)の概要に関する論文が Oceanography 誌に掲載されたことが報告された。

(<https://tos.org/oceanography/article/the-dawn-of-the-biogeosciences-program-ocean-metabolism-and-nutrient-cycles-on-a-changing-planet>)

また現在、プログラムのサイエンスプランが作成中であることも共有された。

6. その他

なし

(3) 最近の GEOTRACES 関連航海の実施状況及び今後の実施予定について

小畑委員より、2025 年 6 -8 月にベーリング海での GEOTRACES 航海が実施されることが報告された。

(4) 国内 Website、メーリングリストなどについて

張委員長より、メンバーの入れ替わりに伴い、近日中にメーリングリストのメンテナンスを実施したいとの提案があった。また、国内の GEOTRACES website の維持管理について、今後どのように運用していくか、継続審議として議論していくこととした。

(5) その他

張委員長より、GEOTRACES 小委員会の委員構成について若手研究者を数名加えることを検討してはどうかと提案があり、これを継続審議として議論していくこととした。

また、GEOTRACES 小委員会が主体となり、公開シンポジウムの開催を検討する提案もあり、これについても継続審議として議論を進めることとした。